



# 補欠ゼロリーグ だよい 2010



## 一関地区 補欠ゼロリーグ (U-6/U-8/U-10)

開催 : 2010年4月10日(土) ~ 2011年3月6日(日) 全10回  
 内容 : キッズカテゴリーの子どもたちに定期的に試合ができる環境を整えていく取り組みで、補欠をつくらず全員が  
 出場するリーグ戦  
 主催 : (社)岩手県サッカー協会  
 主管 : (社)岩手県サッカー協会 キッズ委員会 一関地区

運営統括 : 千葉 晃徳 (県協会キッズ委員会 一関地区担当)  
 サポートスタッフ : 一関市サッカー協会スタッフ、一関地域在住 JFA 公認キッズリーダー  
 参加少年団の指導者、父母の方々  
 岩手県サッカー協会キッズ委員会スタッフ

\*\*\*\*\*

### 一関 第3節

日時会場 : 2010年6月12日(土) 9:00~16:00 一関市東山総合体育館  
 参加人数 : 132名 (U-6 11名、U-8 33名、U-9 25名、U-10 63名)  
 参加少年団&クラブ : 一関、一関南、山目、萩荘、中里、千厩、東山、平泉、またき、カワサキ

### 午前部 (U-6、U-8、U-9)

【会場を3分割(U6/U8/U9)して実施 (卓球フェンス設置)]      【U-6 子供 VS 子供 (U-6は1コートで実施)]



【U-6 子供 VS スタッフ】



【U-6 集合写真】



[U-8 ウォーミングアップ]



[U-8 ゲーム (U-8 は2コートで実施)]



[U-9 ゲーム (U-9 はやや大きめの2コートで実施)]



[U-9 リーグ戦終了後に全員でクールダウン]



\*\*\*\*\*

### 午後の部 (U-10)

[U-10 ゲーム (アリーナ全体を大きく2コートに分けて実施)]



【U-10 キッズ用ゴールを2台くっつけて、ゴールを大きくしています】



【スタッフと父母の方々にて用具の片付け】



【活動を終えて】

#### U-6の運営について

体育館という限られたスペースでは、キッズに適したサイズの「試合コート」をたくさん設営することは難しいです。なおさら、ゼロリーグに関しては午前中にU-6・U-8・U-9が一斉集合・一斉活動するので、試合コート設営・試合タイムスケジュールには大変苦慮しています。

第1～2節ではU-6をU-8にミックスして活動しましたが、スタッフミーティングにおいて「試合でU-6の子供たちがボールに触れる機会が少ない。活動トータル時間がU-6にとって長過ぎる」という課題について意見交換しました。そこで今回の第3節からはU-6専用コートを用意して独立させ、U-6活動時間は60分程度にしました。普段からスポ少のU-6組織でプレーしている子は「もう終わりなの?」と言っていました。活動時間はちょうど良かったと思います。また、U-6を独立したことで、今後U-6参加者が増加した場合の対応も容易になると思います。

#### 試合球について

黄色のキッズ軽量3号球は子供たちに人気がありますが、蹴ると飛びすぎるために試合中ではコート内に落ち着きません。それでは子供たちがボールに触れる時間が少なくなるので、今のところ試合では使用していません。現在の試合球は、U-6・U-8・U-9が白黒スポンジボール、U-10はオレンジ色のローバウンドボール(今では廃盤商品)です。今後は状況を見て、U-9の試合球もローバウンドボールにするか検討する予定です。

#### U-9・U-10について

個人で練習できるテクニックについては個人で練習してもらい、ゼロリーグの場では「ゲーム(試合)」に関する指導を重視しています。したがって、ウォーミングアップ(クリニックタイム)ではテクニックの紹介・体験とグループコミュニケーションをすすめる程度にとどめています。

ゲーム中のコーチング 待機中の子供とコーチが意見交換 タイムスケジュールで2試合終わるたびに全員で集まって総合コーチング(そして次の試合へ進む)、などをおこなって「サッカーの原則」を少しずつ指導しています。

【報告】鎌澤 和之 (岩手県サッカー協会 キッズ委員会)